



「ザ・介護予防」 みとくざくらの会

みとくざくらの会（世話人 森嶋千歳さん 会員20名）は平成25年に発足。毎月第1、第3水曜日に三徳センターで筋力体操を中心に取り組んでいます。平成24年に三朝温泉病院リハビリテーション科に作成してもらったメニューを約10年間ずっと続けています。平均年齢82歳のメンバーがスクワットをしたり、四股を踏んだりしています。

世話人の森嶋さんは「片柴のみんなが元気になる集まりの場にしたいと思っています。いつでも誰でも、特に男性ウェルカムです」と言います。森嶋さんは6ページの「話を聴かせて」にも登場。熱い想いを口にしました。

三朝町社会福祉協議会広報誌

福祉みささ

第200号

2022年8月1日

協議会 事業報告

ボランティアセンター事業

- ボランティア連絡協議会
会議、会員研修・レクリエーションの開催
- ボランティア団体活動助成
15団体 305,000円
- 介護支援ボランティア事業
ボランティア登録者数19人、活動回数延300回
- 学生服リユース事業
制服提供1件、利用申込2件

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
ケアプラン及び介護予防プラン作成件数 1,167件
要介護認定調査受託71件
三朝町地域包括支援センター連絡会参加1回
- 通所介護事業 延利用者数4,952人、
1日平均利用実人数15.9人
 - ・利用者拡大、満足度向上に向けた取組み
 - ・季節行事・外出行事の実施
 - ・ゆけむりだよりの発行6回
 - ・個別支援の強化(趣味活動や機能訓練の取組み)
 - ・中部ふるさと広域連合介護認定審査会委員派遣13回
- 訪問介護事業
延利用回数2,552回
身体介護延利用回数542回
生活援助延利用回数1,158回
総合事業延利用回数652回



障がい者地域生活支援事業
コナンの里へお出かけ

施設管理事業

指定管理者として町立福祉センターの施設管理を実施
有料入浴者数4,007人、無料入浴者数3,999人

募金活動への協力(三朝町共同募金委員会)

赤い羽根共同募金実績 1,297,625円
歳末たすけあい募金実績 1,103,292円



通所介護事業
あやめ池へお出かけ

町受託事業

- 外出支援サービス
延利用者数204人、月平均利用実人数6.5人
- 配食サービス
延利用者数6,233人、月平均利用実人数20.1人
- 産後ヘルパー事業 延利用者数0人

障がい福祉事業

- 障がい者地域生活支援事業
開設日数240日、延利用者数1,658人、
月平均利用実人数6.9人
・健康づくりの推進、季節行事及び外出行事の実施
- 障がい者居宅介護事業
延利用回数464回、月平均利用実人数1.75人
- 重度障がい児者医療型ショートステイヘルパー付添事業(県補助事業)
延利用者数11人、月平均利用実人数0.9人

令和3年度決算

収入	決算額	備考	支出	決算額	備考
会費	3,317,835	一般会費、賛助会費、特別会費	法人運営事業	8,613,882	運営事務費、会議費等
寄付金	2,180,776	香典返し寄付、一般寄付	地域福祉事業	12,144,067	ボランティアセンター事業等
補助金	25,551,000	町、県社協	共同募金事業	1,891,853	広報事業、福祉団体助成等
受託金	24,022,789	町、県、県社協	介護サービス費	81,287,716	介護保険事業、障がい福祉事業
共同募金配分金	1,941,666	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい	町受託事業	14,534,084	配食サービス事業等
介護サービス	79,208,515	介護保険事業、障がい福祉事業	県、県社協受託事業	8,785,630	生活困窮者自立支援事業等
事業収入	1,312,528	入浴料等の利用料	施設管理事業	13,166,483	福祉センター管理運営費
その他	35,224,159	繰越金、預金利息等	繰越金	32,335,553	
収入合計	172,759,268		支出合計	172,759,268	

令和3年度 三朝町社会福祉

本会では町民の皆さまや福祉関係者等、多くの方のご理解ご協力をいただき、以下の事業を実施しました。事業報告及び決算についての詳細資料は、三朝町社会福祉協議会のホームページから閲覧・ダウンロードすることができます。「三朝町社協」で検索、または www.misasa-syakyo.or.jp を入力してください。

法人運営・地域福祉事業

法人運営事業

- 会議 理事会6回 評議員会3回 監事会1回
評議員選任・解任委員会1回 社協のあり方検討会5回
- 役員研修の実施（内部研修開催0回、外部研修参加3回）
- 職員研修の実施（内部研修開催6回、外部研修参加29回）

第8次地域福祉活動計画の策定

- 策定委員及びオブザーバー委嘱
策定委員会開催 4回



地域福祉活動の推進

- 小地域ネットワーク事業の充実
集落福祉活動の推進 ・三朝区（支え愛マップの取組みに向けた協議）
・上西谷区、加谷区、下西谷区（学習会への職員派遣）
吉田区ショッピング
デイサービス
愛の輪運動 一人暮らし高齢者等の見守り、対象者25人、訪問員25人
福祉関係者合同研修会 3月13日開催 参加者41人
救急医療情報キットの配布 総配布数424世帯
- 高齢者の閉じこもり・介護予防、生きがいつくり事業の推進
地区別高齢者交流会の開催 57回、延利用者793人
- 生活支援コーディネーター事業（町受託） 居場所づくり支援 16集落でのサロン開催
- サロン事業（町受託） いきいき元気サロン開催 41回、延435人参加
- ショッピングデイサービス（町受託）
介護予防と買物支援を一体的に実施 吉田区15回、延128人。加谷区3回、延14人。助谷区8回、延49人
- ボランティア配食サービス 年40回、514食を配達、調理ボランティア延184人、配達ボランティア延158人
- 総合相談所 開設13回、相談受付9件、相談員研修2回実施
- 福祉資金貸付 1件
- 生活福祉資金貸付（県社協受託） 総合支援資金1件、新型コロナ特例貸付17件
- 日常生活自立支援事業（県社協受託） 利用者数5人、支援回数延48回
- 生活困窮者自立支援事業（県受託） 相談受理件数23件、相談支援回数延118回
- 生計困難者に対する相談支援 相談受付件数1件、えんくるり事業につなげた件数1件
- 福祉教育推進事業の実施 夏休みボランティアスクール 計11日間開設、小学生13人、中学生14人参加
トライワークみささ受入れ 三朝中学校2年生2人
- 福祉教育の推進 福祉教育推進活動助成 小・中学校、保育園 158,400円
エコキャップ運動 回収量179,547個（ポリオワクチン約208人分）

広報啓発活動の推進

- 広報誌「福祉みささ」 4回発行 ○第29回三朝町福祉大会 12月12日開催、57人参加
- ホームページの活用と充実

いきいき元気サロンだより



定番となった三朝温泉病院
理学・作業療法士講座は今年度も大好評です。
・フレイル予防 ・ロコモ体操(機能低下予防)
・認知症への理解と対応 ・腰痛予防
など様々な講座を準備しています。



お出かけも実施しています。
写真は日吉津JAアスパルにて、
ソフトクリームをほおぼる参加者。

今後の日程

	小鹿地区	三徳地区	三朝地区	高勢地区	賀茂地区	竹田地区
8月	2日(火)		4日(木)	23日(火)	18日(木)	25日(木)
9月	6日(火)		1日(木)	20日(火)	15日(木)	22日(木)
10月	4日(火)		6日(木)	25日(火)	20日(木)	27日(木)
11月	1日(火) 賀茂地区と合同		7日(月)	9日(水) 竹田地区と合同	1日(火) 小鹿地区と合同	9日(水) 高勢地区と合同

社協の人財

インタビュアー



福田 清美

・所属と勤務年数を教えてください。

介護課 居宅介護支援係に所属して16年目になります。

・具体的な仕事内容を教えてください。

介護支援専門員(ケアマネージャー)として、介護サービスが必要となった人の要介護認定申請のお手伝いや、サービスを利用するための個々に適したケアプラン作成をしています。利用者や家族の相談・希望に応じて、サービス事業者との連絡・調整をします。

・仕事におけるやりがいは何ですか。

例えばの話ですが、ひとり暮らしの人がいるとします。歩行に不安があり、物忘れも出てきた。でも「住み慣れた家・地域にいたい」と強く希望している。そういう場合に、

「ご近所さんや民生委員さんと連携して見守りをしてもらう。そして介護サービスや本会の地域福祉事業をフル活用して、自宅での生活が安心して送ってもらえる。ご本人は希望がかなっていきいきとしている。そんな姿を見た時、やりがいを感じます。」

・目指している理想像を教えてください。

「この仕事は「住み慣れた家で地域で暮らしたい」という願いを叶えるお手伝いだと思っています。「その人の暮らしが支えられる」が介護サービスのありべき姿なので、地域住民の皆さんや民生委員さんとのつながりも大事にしていきたいです。また、本会の地域福祉事業としてしっかり連携して社協としてあるべき居宅介護支援を模索していきたいです。」



救急医療情報キットについて

三朝町社会福祉協議会では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等を中心に、「救急医療情報キット」の設置を推進しています。

いつ役に立つ？

自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだ時、駆けつけた救急隊員などに持病やかかりつけの病院等の情報を、確実に伝達するためのものです。

どう使う？

- ①必要な情報を記載したシートを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管します。
- ②冷蔵庫と玄関の内側にキットがあることを示すステッカーを貼り付けます。救急隊員は必要な情報を迅速に確認することができます。

町内424世帯 551人の方に活用いただいています

- ・キットの紛失
- ・シート記載時点と内容が変わっているなどが見受けられます。

救急キットの情報は随時更新し、万一の時に備えましょう。

変更等が生じている方、新たに希望される方は

三朝町社会福祉協議会 ☎43-3388

までご連絡ください。



配食ボランティア募集

調理及び配達ボランティアを募集しています。

活動内容

*調理ボランティア

月に1～2回、約5名で12食程度のお弁当を作る。活動時間は午前9時～11時。

*配達ボランティア

週に1回、お弁当配達をしながら利用者の安否確認や利用料金集金を行う。活動時間は午前10時半～12時。

詳しくは

三朝町社会福祉協議会

☎43-3388

《寄付紹介》

「ありがとうございますございました」

◆香典返し寄付者

神倉	岩山修一朗様(故靖尚様)	金一封
赤松	柴田 彰夫様(故千賀子様)	金一封
大瀬	藤井 美行様(故博治様)	金一封
余戸	松原 秀樹様(故津多子様)	金一封
大阪市	大坂 達夫様(故志磨子様)	金一封
助谷	中島 康様(故巧様)	金一封
高橋	岩本 努様(故雪子様)	金一封
大瀬	鈴木 大輔様(故芳雄様)	金一封
穴鴨	藤森 明美様(故登紀夫様)	金一封
曹源寺	安本 裕二様(故由彦様)	金一封

※寄付者及び寄付金額の記載は、寄付者ご本人の了解をいただいています。なお、金一封の記載は金額の多少に関わらず、寄付者のご本人の意思によるものです。

話を聴かせて



片柴区 森嶋千歳さん

みとくざくらの会や民生児童委員の活動に奮闘する森嶋さん。その熱い想いを聴きました。

「みとくざくらの会を作った想い

介護予防、元気づくりも目的でした。でも、それだけではなく、片柴のみんなが集落の何かしらの集まりに関われるようになる。そのため、きっかけを作りたいという想いも強かったです。集落の集まりに全く参加せず、家に閉じこもりがちになってしまうようなことにはしたくないと思っていました。

「民生児童委員としても

みとくざくらの会を作った時は民生児童委員になったばかりの頃で、高齢者の安否確認を自然な形で行いたいと思っていました。この会は民

生児童委員としての活動にも良い機会となりました。普段から「声かけあつて、集まって、おしゃべりして」という関係性ができていくと、災害時の安否確認にも活かせると思っています。また高齢者のネットワークは素晴らしいもので、「〇〇さん、調子が悪いそう」という話が出ると他の地区担当の民生児童委員さんと連絡を取り合うこともあります。

「集落内あいさつ運動

みとくざくらの会で「集落内であいさつを交わすことが減っている気がする」という声がありました。あいさつは人間関係の基本なので、これは何とかせねばと思いました。そして取り組んだのが、会のメンバーによる小学生の登下校時あいさつ運動でした。最初は恥ずかしがってあいさつできなかつた小学生も続いているうちに元気にあいさつしてくれるようになりました。そうすると大人同士も元気なあいさつを交わすようになってきます。やはり元気なあいさつは気持ちがいいです。大人も子どもも元気に楽しく過ごせる。そういう地域づくりをしていくのが私たち世代の役目かなと思います。



みとくざくらの会 体操が終わったらティータイムです

「三徳シニア

クラブ

三徳地区では老人クラブが長い間休会



鳥取市方面お出かけの様子

となっていました。数年前に地域協議会が主体となって三徳シニアクラブとして活動が再開されました。交流のなかつたシニア年齢層が活発な活動を展開しております。更に会員を増やし、三徳地区みんなの集まりの場になるように活動していきたいです。